

市指定文化財<彫刻>

安国寺釈迦像

指定日 昭和42年3月24日

所在地 菊池市泗水町豊水 安国寺



通称お釈迦さん、木彫りの寄木造り^{よせぎ}で、横幅が105cm、高さが110cmの座像^{せむい}。施無畏印^{いん}に与願印^{よがんいん}、百毫^{びやくごう}に螺髪^{らほつ}と、最も典型的な如来像である。背後に輪光背^{りんこうはい}がついて、蓮弁^{れんべん}までの台座の高さが130cmある。

大正7年(1918)の県調査で、制作年は永正12年(1515)と判明、久米原の戦い^{えいしやう}(永正6・1509年^{ねん})後に新調されたことが分かっている。

久米地区では、釈迦^{しゃか}生誕日の4月8日に灌仏会^{かんぶつえ}(花祭り)が行われる。25cmの小さな誕生仏に甘茶が注がれ、参詣者には甘茶が振舞われて、賑やかなお祭り日となる。

仏教の開祖釈迦とは、古代インドの釈迦族で、姓はゴータマ、名はシッダルタ。苦行の末に悟りを開き、人々に法を説いた。釈迦牟尼^{むに}(釈迦族の聖者)と呼ばれ、尊称として釈尊^{しゃくそん}、或いは釈迦如来と呼ぶ。生没年は、紀元前566年～前486年、享年80歳説が有力である。